

～2016年熊本地震からの創造的復興へ向けて～

日時：平成28年6月25日（土）

13時30分～17時（13時00 開場・受付）

※事前登録なし、当日受付のみ。

入場
無料

場所：熊本大学 百周年記念館

主催：熊本大学

2016年熊本地震による大規模災害に対し、熊本大学では減災型社会システム実践研究教育センターや政策創造研究教育センターを主体とする「熊本地震災害緊急調査団」（団長：松田泰治熊本大学教授）を立ち上げ、災害の実態把握とそのメカニズム解明のための調査を実施しています。さらに、被災者や自治体への支援活動にも教職員のみならず数多くの学生が携わってきました。つきましては、これまでの活動報告を行いますので、ぜひご参加ください。



【お問い合わせ】

〒860-8555

熊本大学大学院自然科学研究科附属減災型社会システム実践研究教育センター

TEL 096 (342) 3489 e-mail: gensai1@kumamoto-u.ac.jp

プログラム

13:30 開会の挨拶

熊本大学副学長・理事 松本 泰道

地震分布から見た2016年熊本地震の特徴

熊本大学大学院先端科学研究部
教授 渋谷 秀敏

2016年熊本地震に伴い発生した断層の特徴

熊本大学大学院自然科学研究科
附属減災型社会システム実践研究教育センター
特任准教授 鳥井 真之

平成28年熊本地震による被災建築から得られる教訓

熊本大学大学院先端科学研究部
教授 山成 實

橋梁等の建造物の被害状況

熊本大学大学院自然科学研究科
附属減災型社会システム実践研究教育センター
センター長・教授 松田 泰治

質疑応答

15:00

休憩 (10分)

地震動による土砂災害の特徴

熊本大学名誉教授 北園 芳人

2016年4月熊本地震が緑川および白川の河道に与えた影響について

熊本大学大学院先端科学研究部
教授 大本 照憲

熊本城跡および県内石橋の被害について

熊本大学大学院先端科学研究部
教授 山尾 敏孝

連携・協働による「被災者」の多面的な支援

熊本大学政策創造研究教育センター
特任助教 安部 美和

質疑応答

熊本大学学生災害復旧支援団体「熊助組」からの活動報告

熊助組代表 太田 光

17:00 閉会の挨拶

熊本大学大学院自然科学研究科長 宇佐川 毅

会場MAP

